

令和元年度茅ヶ崎市まちぢから協議会連絡会 8月定例会議事録

- 1 日 時 令和元年8月14日(水)午後1時30分～午後3時15分
- 2 場 所 市役所本庁舎4階 会議室1
- 3 出席者 後藤会長、細田副会長、植松副会長、和田会計、弓達監事、
関野保、河内昇、篠原徳守、林正明、真野宗直、三髯健一、林申次、
高山和茂、岩壁榮、松本楯臣、小山明、滝本誠、新倉昭人、雫石剛、
前田積、青木三郎、小嶋政雄、小野寺昌成、仲村眞、永澤鐵男の各委員
欠席：矢野監事
秘書広報課(渡辺主幹)、産業振興課(石井課長)、保健予防課(井上課長)
企画経営課(坂田課長)、都市政策課(深瀬課長)、防災対策課(岩井課長)
市民自治推進課(富田課長、木村課長補佐、伊藤課長補佐、小松課長補佐、
窪田副主査)
事務局(山田、長野)

4 会議の経過

- (1) 開 会 細田副会長
- (2) あいさつ 後藤会長
- (3) 議 題

① 会報誌「まちぢから」の発行について(報告)

資料に基づき事務局より報告した。

② ホームページ管理運営チーム会議の報告について

令和元年度第4回及び第5回ホームページ管理運営チーム会議の報告が、資料に基づき海岸地区真野チームリーダーよりあった。また事務局より自治会の紹介ページの掲載状況を説明した。

ホームページ担当者の会議を開催することになった。

③ 先進都市視察及び研修会について

先進都市視察について、資料に基づき事務局より説明した。

研修会について提案があった。

(委員) まだ決まっていないんですけども、今までの内容を含めて茅ヶ崎市の今後の都市の在り方、まあマスタープランなどもありますけれども、一般的に第三者が見たときに茅ヶ崎市はこうあるべきだと、というような内容を講演してもらったらどうかということで、みなさんご存じだと思いますが、ローカルファーストという言葉があります。トランプ大統領がUSAファーストと言ってるようにその意味は第1とか1番とかありますけれども、大きな内容の意味の中に、3つぐらいあります。人生を元気で楽しく幸せにする力がある、それからすてきなライフスタイルを教えてくれる。町を明るく豊かにする力がある。商店街を活気づけ人々が笑顔にあふれ持続可能な長寿社会が実現される。未来への夢を描き、希望をあふれさせる力がある。でそういう意味を持ってるんですけども、この中で、今まで私もローカルファーストのいろんな講演を聞いておまして、よかったなと思うのがいくつかあります。その中に秋山弘子さんという方がいらっしやいまして、「ローカルファ

ーラストで日本を変える」という本を出していらっしゃいます。たまたまこの方は茅ヶ崎市の「豊かな高齢社会に向けたまちづくり有識者会議」の座長をやってるんですね。そういう方が一人いらっしゃいます。この方は東大の特任教授をやっておりまして、いろんな面でこのローカルファーストに対する認識が深い方です。そのほかに何人かいらっしゃるんですけども、タイトルだけはしっかり書いてあるんですが、例えば「魅力あふれる茅ヶ崎のつくり方」講演があって、この方は松本さんという会社の代表取締役をやってる方、そのほかに「あなたのライフスタイルが茅ヶ崎の未来をつくる」「データから見えるまちの姿」、これらの中で皆さんに何人かの中で、茅ヶ崎のまちのつくり方とか、あり方とか、未来の茅ヶ崎のあるべきところとかを講演できる人を選んで、

やったらどうかと、私のほうも絞り切っていないんですけども、検討したらどうかと思います。

(会長)私はずっと7年から8年ぐらい自転車盗と放置自転車の関係について、一生懸命調べたりしてるんですが、おかげさまで平成23年の時には、神奈川県で茅ヶ崎市ワーストワンの自転車盗が、皆さんご承知だと思いますが平成24年の時に地域でステッカーを作って放置自転車を見つけたらすぐに、そのステッカーを貼ってそこへ置いた人に警告をするような形をとってきたことによって、平成23年の時は1,109件あったのが、昨年は439件ということで、相当減ってまして、今は神奈川県でワースト10ぐらいで、だいぶ下がってきているんですが、ちょっとみてみますとなぜ自転車盗が減るとほかの犯罪が減るかというのが載ってるんですが、悪い人はできるだけ証拠を残さず足が付きにくくします。犯罪者は手袋をしたり、顔を隠したりします。それと同じで自分が持っているものを使って犯罪を犯すと特徴を覚えられたり、失敗しても逃走中自転車を捨てて逃げなければいけない状況になったら、自分の自転車だと車体番号や防犯登録、指紋などでばれてしまいますので、他人の自転車やバイクを使って、必然的にほかの犯罪も減るんですよ。そういう話もあります。次に7月末の犯罪発生状況について説明しますが、今年7月までの自転車盗は219件、昨年は1年間で439件ですから、だいたい横ばいなんですよね。ここ7年くらいずっと見てくると、毎年100台くらいずつ減ってきてるんですが、ここへ来て下がり方が減ってきているので、これを少し皆さん方で何かできないかなということ、話をさせていただければと思ってます。20分ぐらいで話ができると思ってます。こういう話題もどうかと思って提案をさせていただきます。

(委員) 昨年は地球的な規模でのごみの問題の解決についてでしたが、今年もごみの問題を扱えたらなと思います。各地区の市民集会でも必ずごみの問題、市の行政に対するいろんな要望とか質問が出てきて、最終的にはごみ有料化と戸別収集ということで、市のほうは方針を決めてるようですけども、研修として例えば戸別収集をしている市の担当なり行政の方に話を聞いてその市が戸別収集をしてよかったのか、前のが良かったか、どういう苦労があったかとか体験から話を聞いてこれからどうしていくか、聞いて参考にすることというのはどうかというふうに思います。ごみがきれいに処理できる市は最高の未来があると思いますので、実際の間

題に取り組んでいるそういうところを参考にして話を聞いてみたいと思います。ひとつの提案でございます。

④ その他

ア 情報交換について

(ア) 茅ヶ崎市内の犯罪発生状況等について

後藤会長より、茅ヶ崎市内の7月末現在の犯罪発生状況等について、資料に基づき説明があった。

8月1日に茅ヶ崎警察署の落成式がございました。出席された方もおられますけれど、新たにイオンの裏側にできました。少し近くなったと思います。

犯罪発生状況ですが、振り込み詐欺おかげさまで、件数は1件ということで、松林地区で1件おきております。昨年1年間で92件発生しているんですが、もう半分過ぎて12件ということで大幅に減少しております。これは本当に地域の皆様方が高齢者にいろんな声かけをしていただいて犯罪が減ってきているという状況がございますし、またこういうことが続けば、振り込み詐欺グループも茅ヶ崎を警戒しようということで、電話も少なくなってくるでしょうし、こういうことをできるだけ続けていきたいと思います。それからひたくりなんですが、茅ヶ崎で高校1年生のグループが検挙されたということで、それ以降発生していないという状況がございます。空き巣もゼロということです。こういう犯罪は地域で気をつければ減ってくると思います。残念ながら先ほど言ったように自転車盗が419件で、昨年は1年間で439件なんでこれを少しでも減らしていきたいと思いますので、ご協力をお願いします。あと全体的には犯罪が減ってきておりますので、できるだけ安全で安心なまちを作っていくことはわれわれ、各地区の代表としての願い事でございますので、ご協力をお願いします。それからあと人身事故ですが、高齢者の事故が少し多くなっております。神奈川県のが平均が34パーセントですが、茅ヶ崎は36.1パーセントということで多くなっていますので、皆さん方も気を付けていただきたいと思います。自転車と子どもの事故についても、多くなってきておりますが、先日茅ヶ崎の交通事故が多くなってきておまして警察の方から資料が出てるんですが、各地区っていうか、例えば柳島13件っていうふうに出てるんですが、その時に言ったのはただ件数だけだとわれわれどこの信号だとか、どこの道路で事故が起きているのかわからないので、もう少し具体的に出してほしいなという話をしております。今日も私警察のほうに行ってうちの方の事故がどこの道路で発生してるのかというのを確認をしに行ってきております。例えば134号線っていうのは外から来る人が多いんですが、やっぱりここは信号をつけなきゃいけないとか、ここは子どもの見守り隊をやってるんだけどやってる時間以外に事故が起きてるとかそんなようなことがわかれば、もう少し具体的に対策がとれると思いますので、警察のほうにももう少し具体的に情報を出していただきたいと思いますということでお願いをしております。

(イ) 事務局より情報提供を行った。社会福祉法人ひざしの丘後援会主催、後援が茅ヶ崎市/茅ヶ崎市教育委員会/茅ヶ崎市社会福祉協議会のチャリティー映画会チャリティー上映会 ～いまに生きる～ 映画「二宮金次郎」の周知チラシを卓上

配布した。収益はすべて社会福祉法人ひぎしの丘に寄付されるとのことである。

(ウ) 湘南地区後藤会長より情報提供があった。

柳島スポーツ後援の納涼祭ということで、8月23日16時から開催します。

この日は平塚の花火大会がある日なのですが、花火大会が始まるまでの間、納涼祭で盛り上げて、花火が始まったら花火を見ようということで。すぐ平塚の相模川の河口の近くですので、よく見えます。この前残念ながら茅ヶ崎の花火大会が中止になりましたが、湘南地区だけではなくて、どなたでも参加できますので、よろしくをお願いします。

(4) 行政からの依頼事項等について

① 上半期広報紙等配布業務完了報告書について

秘書広報課主幹より、資料に基づき説明があった。

② 茅ヶ崎サザン芸術花火について

産業振興課長より、資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 今年は市の花火が中止になりましたので、この茅ヶ崎サザン芸術花火やるのは、市の花火大会の代わりとして、今年はありがたいという気もします。ただ去年は、定期的に毎年やるものではないという話だったのに、今年もう早速開催ということで、当初の話とは違ったなあという気がしております。それともうひとつですね、これは公共の浜辺を使うわけですね。それも有料でやるわけですね。我々から見ると収益事業じゃあないのという気がしております。そう決めつけることができるかどうかわかりません。知りたいのは収益を上げたとしたなら、その収益はどこいつてるのというのが大きな関心です。これがある程度市の公共的な支出に充てられるというのならまだ理解もできるんですが、これがまったく収益として、主催者が利益を持っていっちゃうのであれば、だったら浜辺に一般市民の立ち入りを禁止して、なおかつ交通規制もして、ゆうなれば近隣住民の犠牲のもとに収益を上げるなどは、おかしいじゃないかという気持ちも起きますので、収益事業だとすればどうなってるんだということを明らかにしていただかないと、なかなか納得のできる場所ではないかなと考えています。それでここに書いてあるんですけども、一般解禁の日にちを決めたり、やけに秘密でやられるんですね。なぜそんな必要があるのかな。私去年からすると、非常に質の高い花火で例えば3000円とか4000円払っても、それだけ価値はあったよということを聞いているので、花火大会自体に疑問点はありますが、やること自体には結構地域の住民も、今年もやるんなら楽しみだねという意見も出てくると思うんですね。そこでなぜこのような情報解禁の日にちをするのか。何か恐れてるんですか。いろんな収益の分配についての問題があるとかで大きな反対が市民から起きるのを防ぐのに、こんな情報管制をひいてるのか。勘ぐりたくなる場所もありますので、教えていただければね。収益はどうなってるのか。金額いくらがどこいつてるかじゃなくて、どういう方面に収益がいつてるのか。あるいは赤字なのかね。そこをはっきりしていただくことが、近隣の住民の納得を得るには必要じゃないかなと思いますので、よろしくをお願いします。

(問) これ去年は桑田佳祐の結成40年の記念イベントとして去年だけやるということ

始まったんですね。それが毎年やるのは当たり前みたいにちがさきサザン芸術花火大会みたいな、毎年やるのが当たり前みたいなようにもっててる。去年はイベント会社が出てきて、それに市の観光課がくっついてきてねそれで始めたんですよ。イベント会社はどこですか。まったく隠れてるでしょう。それで主催が茅ヶ崎観光協会にいつちゃってる。それからあと35,000席は全部有料である。いくらぐらいとるのか、そういうことも何も書いていないで一般に回覧みたいに戻してる。イベント会社の事業でしょう。それに茅ヶ崎が協力して乗っかってるんじゃないですか。去年は名刺もってイベント会社がさんざん挨拶に来ましたよ。そういうところが隠れちゃってる。有料化なら有料化でいくらにしてどうなのかっていうのははっきりしないと、ただイベント会社のもうけ話に乗っかってるという感じに受け取られるんですね。

(答) まずこの事業に関してかなりの収益が上がってるんじゃないかという質問を頂戴しました。確かにこの事業を行うにあたりまして、お話がでております有料観覧席ということで事業をすることに今年もなってます。それで実際に有料となった料金がそのまま収益になるのではなく、当然ながらいろいろな物品の調達ですとか、警備の配置を含め経費がかかるなかで、最終的に昨年の実績で言いますと4,000万円の赤字という報告を受けています。その赤字が出たということで、今年の実施はなかなか難しいだろうということは昨年の実績の報告をいただいたときに、そういう話がありました。ただ去年は桑田佳祐サザンオールスターズの結成40周年というしめくりもあって、この花火があったということなんですが、実は今年度につきましてはサザンビーチちがさきが、このサザンビーチという名前になって今年で20周年ということがあります。これをサザンオールスターズの事務所さんのほうが耳にした中で、去年は4000万円の赤字がでてしまったけれども、ぜひとも茅ヶ崎のために今年もやらしていただけないかというお話があったなかで、今に至ってるという状況でございますので、その辺のところをご理解をいただければと思います。それともう1点、去年は実際に現場の方を運営するイベント業者さんが一緒に来て、しっかり立ち位置がみえたんだけど、今年はそのが見えないということですが、こちらは大変申し訳なかったんですが、昨年同様に茅ヶ崎の現場の運営をしていただいた事業者さんなり、また同じスタッフの方が今年度もしっかりと現場を対応させていただくということで、決してどこにもいなくなったわけではありません。確かに最初に一緒にご挨拶に伺わなければいけなかったところではございますが、今後もそういった事業者さんがしっかり運営に回っておりますので、あわせてご理解をいただければと思います。最後に情報の解禁がくぎれくぎれで何かを隠しているんじゃないかという話もございましたけれども、こちらにつきましても逆に主催者であり、実際に事業を運営する事業者さんも非常に茅ヶ崎のことを心配をしてくれておりまして、地元の方とにかく一番最初にご理解をいただき知っていただきたい、そのあとに全国的にこういったものを茅ヶ崎でやりますよという情報をしっかりと伝えさせていただきたいので、まずは地元の方にお伝えするまで、一般の方への情報発信は控えたいという思いもございまして、こういう段階的な情報発信のスケジュールとなっていることもご理解をいただきたいと思っております。

(問) 4,000万円の赤字ということですが、その赤字は誰が補填したんですか。この

厳しい世の中で4,000万円出して単なるボランティアで、ポーンとだす人って、すぐにはうなずけないんです。なんかその4,000万円を回収するためにやってるんじゃないかと。市が補助金を出すとかね。公に寄付を募ってるとかでその赤字を埋めてるといふならまだ理解はできるんだけど、4,000万円赤字出して、今年もまたやる。業者がその赤字をかぶってるとはとても思えない。なんかどこかで収益を上げて、じゃなかったら、言い方悪いんだけど市のほうが騙されてるんじゃないかと、まあそんなことはないんだろうけれども、なんか透明感がないなという気がします。それともう一つ今の情報解禁も地元の人に最初に知らせてからということで、情報解禁の日をちを決めてやっているというのも、何かもう一つ地元の人そんな我々の前に発表されたら顔つぶすなんてことは思いませぬよ。段階的に連絡するんだから我々より先に知ってる人がいくらいたってしょうがないんでね。地域住民に先に知らせたいというのも何かしっくりこない。4,000万円の話にしてもなんか裏があるんじゃないかと、もうちょっと公明正大に堂々とやられたらいかがですか。収益事業だって反対はするかもしれないけれども、明朗会計でやらなきゃ。なんか赤字でやるなんてこの世知辛い世の中で腑に落ちないですよ。よっぽど茅ヶ崎が好きで、茅ヶ崎を応援するために浄財をはたいて4,000万円を補填するんだっていうんなら、きちっと誰がそのお金をはっきり出してやれば良いと思う。市として、その4,000万円の赤字の件は、どういうふう情報をとってるんですか。

(答) この4,000万円の赤字というのは、事業を実施するにあたりまして市としても名義後援をしておりますので、当然ながらその収支につきまして実績報告という形で頂戴しております。その中にですね、約4,000万円の赤字があったということであがってきておりますので、その4,000万円の赤字を誰がどのように補填をしているかということまでは、報告の中では求めておりませんので、最終的にサザンオールスターズの事務所のほうで補填をしているのか、そうでないところで補填をしているのか、ちょっと追跡はできていない。逆に言いますと費用の足りなかった部分を補助金で補ってるといふことは一切ございませんので、ご理解をいただきたいと思っております。情報解禁の手順につきましては、先ほど頂戴いたしました意見も含めまして、今後何か同様なイベントを行う場合には改めて手順についてご相談させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

(問) 市として後援だか名前を貸してるのに、4,000万円赤字でしたという報告だけでそれ以上掘り下げて聞かないというのがわからない。市が後援してるということで、なんか変にお金を使われているという疑いを持ってもいいんじゃないかと思う。悪い事しているっていうわけじゃないですが。そういう疑いもあるんだから、どうやってその赤字を補填しているのか聞いてもいいでしょう。私財を投げうってるのか。私が担当者だったら聞きますよ。市のためにいい花火やってもらってありがたいんだけど、4,000万円をどなたが補填してるのか。聞くのが普通感覚じゃないですかね。聞かないでそのままにしてるっていうのは、産業振興課なんかわれわれに言えないことがあるんじゃないか疑わしい。それを聞きたくなる。そういうことなんで、そのへんをあなたは言えないかもしれないけれど、疑問を持つのは私だけじゃないと思います。地区のまちぢから協議会に持ち帰って4,000万円赤字だったんだよと

言ったら、私が聞かれますよ。どっやって補填したんですかって。その時 に答えられない。なんかいろいろあったんじゃないのと濁して答えるしかない。その 辺はちゃんとわれわれに言っといたほうがいいと思います。逆にへんな憶測を呼ぶものになる。

(問) 昨年のね、芸術花火非常に良かったと思うんですね。大変好評でした。ただ問題になってるのは、券を買ってその券を持って茅ヶ崎小学校へ行ってリストバンドをもらってそれで海岸へ行く。その時にどんな問題が起きたかという交通マヒですよ。自動車は通れない。大変なことが起きちゃって、今回はそういうことはやらないということを知りました。これ海岸でやるんですか。これがひとつ。それからもう一つは高砂コミセンのトイレ。これが玄関からずっと並んじやったんですよ。私がちょうどいたんで、利用者がたくさんいるんでね。1階だけしか使えないって言ったんですが、状況を見て2階まで使わせました。それだけ並んだんです。やはり実情を見るといろんな問題が起きてるんで、うちの事務局員も夜遅くまでいるわけじゃあないです。だれか制御する人がいてほしいと思ったほどでした。事務局員は大変苦労された。私自身がいましたんでよかったんですが。そういうことで最初の件と、今の件お願いします。

(問) あともう一つ言わせてもらいます。去年4,000万円お金出した。今年も4,000万円赤字覚悟でやるわけじゃないと思うけど、やっぱり主催者として、事業やるには、収支予算を作るでしょう。おそらく今年は収支の結果はプラス4,000万円。去年の赤字を取り戻したい。それじゃないと事業者はやりませんよね。そのためには有料席はいくらにするのか。いくら入って、いくら出費が出てプラスマイナスいくらになるのか。予算案としてはきちっとチェックする必要があるんじゃないですか。やってるんですか。

(答) 1点目は昨年の実績を踏まえてリストバンドの件ですが、これはお話のとおり茅ヶ崎小学校を中心に会場周辺が非常に大混乱をしたということで、主催者を含め運営の事業者さんも認識をしております。本年は昨年と同様のリストバンドの配布は行わないことは決定しております。ただしその代わりにどういう手法で行えば混乱なく入場していただけるかを今協議中でございまして、新しいやり方でこういうやり方になりましたとまだ報告ができない状況で、昨年のような混乱にならないような手法を今検討している状況でございます。2点目ですけれども、高砂コミセンのトイレが非常に来場者の方でだいぶ並んでしまったということは昨年実施した後すぐに報告をいただいていることを踏まえて、こちらについてもしっかりと対応できるように事業者のほうにお伝えさせていただいているところです。誰か人を立ててもらいたいというお話もありましたので、こちらも併せて主催者のほうにお伝えさせていただきます。

(問) あの海岸のほうにトイレ設置するんですね。

(答) させていただいております。

(問) だから十分じゃなかったんじゃないかと思います。どのくらい人数が入るかわからないけれども、それに合わせてトイレを作らないと絶対に混みますよ。うちだけじゃないと思います。南側の海風テラスも去年はまだできてなかったかな。たぶん混むと思うんですよ。そういうことで配慮してほしい。

(答) サザンビーチから駅までの道中にある公共施設につきましては、やはり同様のリスクがございますので、今年度どういう対応ができるか協議させていただきたいと思っております。それから4,000万円の件ですが、今年度の実施についてどの程度の収支の予測ができてくるかですけれども、当然ながら主催者については、このイベントで多くの収益を上げる目的ではございません。これは市として言い切れないんですけれども、そういうお話を頂戴しております。逆に言うと収益目的でないのになぜ2年連続でやるのかという疑問があろうかと思うんですけれども、こちらについてもやはり桑田佳祐さんを中心とするサザンオールスターズが昨年40周年を迎え、すでに60歳を超えてるということで、茅ヶ崎市に対する恩返しとか地元茅ヶ崎にこれから貢献をしていきたいという、ご本人たちの思いが非常に強くなってきているというところは市としてうかがっております。そんな中で、昨年は40周年という節目を迎えたところで、この芸術花火が開催された。昨年非常に地元の皆様のご協力もあり、非常に盛大にできたという実績を踏まえて、その金額のマイナスになってしまったというよりも、これだけ地元の方々に喜んでいただいたものは、何とか今年もやらしてもらえませんかという事で、今年度も実施の方向で動いている。ただしだからといって、これが毎年ということではございませんで、今年度やらしていただきたいという話の中で現在実施に向けて調整をさせていただいているところでございます。

(会長) 私もちよっと聞いてて疑問に思ったのは、桑田佳祐さんという話が出たんですが、もしそれが正しいんだったら、そういう風にきちっと言ってあげれば、サザンオールスターズの株が上がるはずだし、もし4,000万円をその方々が負担してくれたんなら、それでもいいんじゃないですか。そのほうがよっぽどいいですよ。それで今言われたように来年以降はまだわからない。やるっていう方向なんですか。それともわからない。

(答) 来年以降どうなのかということなんですけど、まったく未定でございます。今年度実施したなかで、どういう状況になるかも含めて未定ということをうかがっております。

(会長) そのなかで、中小の会社の方々から話を聞くと、毎年この芸術花火をやるのであれば、茅ヶ崎の花火大会をやめてはどうかという話がございます。茅ヶ崎はいろいろなイベントをやりすぎて、寄付金が大変だということを聞いてますので、もしやめられるんならそちらをやめて、芸術花火1本にしてお金のかからないような方法のほうが茅ヶ崎の市民としては助かりますねというようなことが言われてましたので、意見として聞いておいて下さい。

(問) 今来年はわからないと言ったけれど、お知らせで「このイベントが茅ヶ崎で開催されることで、本市が全国的に発信され本市のイメージアップが図られるとともに、賑わいが創出され地域経済の活性化につながる。」と書いてある。これは毎年やってそれをイメージアップしていくということじゃないの。そうじゃなきゃ今年やるけれども、来年はわからないのにこんな文章無責任で書けない。本市が全国的に発信されイメージアップが図られるなら毎年やらなきゃ意味がない。

(会長) 昨年の問題点を改善をさせていただいていることもあると思いますので、今年やる以上は地域の方々に負担がかからないようにしていただきたいと思います。

③ 風しんの感染拡大防止について

保健所保健予防課長より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(問) 対象者が昭和37年4月2日から54年4月1日となっているんですが、これはなんか意味があるんですか。

(答) 昭和37年4月2日から54年4月1日までの方につきましては、風しんの予防の定期接種を受ける機会がなかった。なおかつ流行した時期でなかった方々で抗体を持っている方が非常に少ない年代なのでそこをターゲットに予防接種を受けていただくということになっております。この年代の女性の方は中学生の時に女性だけの予防接種を受けてられますので、男性の方を対象にということですよ。

(会長) これは国のほうの負担ということですか。

(答) はい。

④ 次期総合計画策定のための「まちづくり懇談会」の周知依頼について

企画経営課長より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり。

(会長) こういう意見交換会とか懇談会はなかなか参加する人が少ないので、今まで見てると同じような人が出て、同じような意見を言うことが多いんですが、これは2030年まで茅ヶ崎市をどうしようかということの内容ですので、各地区で9会場で行いますので地区ですできるだけ多く参加していただけるようにしていただきたい。例えば各自治会3名ぐらい出してくれとか。そういうのも一つの方法だと思いますので、協力いただいたほうがいいんじゃないかと思います。たくさん参加してください。

⑤ ちがさき都市マスタープランの改定について

都市政策課長より資料に基づき説明があった。

主な質疑は次のとおり

(会長) 茅ヶ崎らしさということで二でまちの中で移動が楽しめる。自転車で移動が楽しめるということ、必ずこういうことが出てくるんですが、前にもお話ししましたが、中学校の部活の自転車移動禁止というお話がございましたけれども、一貫性をもって行政としてやっていたら、皆さんも納得できると思いますので、よろしく願いいたします。

(答) 都市マスタープランの中では自転車の走行環境を良くしていこうという中で、これまで鉄砲道に自転車レーンを引いたりとか、そういうもので都市マスタープランとしての役割を担ってきたところだと思います。今言われたところは教育委員会のなので私のほうでは答えにくいです。

(会長) そこはちょっと教育委員会だからじゃなくて、茅ヶ崎市としてはどうなのかということを引きつけないと、われわれは茅ヶ崎市民ですので、教育委員会がどうのこうのでは困りますので。あとこういう写真が結構、地域の方々からご協力をいただいているみたいですので、見ていただいてお礼を言っていただければと思います。

(問) この概要版と厚いきちっとまとめていただいたものを、公共施設とか人の目につくところに置かれると思うんですが、どういう人たちにどういうふうに効率的に伝えた

いか何かあれば、自治会とかそういうところに、こういうふうアプローチしてほしいとか、もうちょっと具体的なお話をいただくと、われわれが広報する指針になるんですが、みなさんそれぞれ代表者の方にお配りして興味がある方には市のほうに要請してくださいではなかなかその先が繋がらないのではないかと思います。いかがでしょうか。

(答) 一応ホームページ上にはのせております。公共施設のところに配架をさせていただいて興味のある方に見ていただけるような形にしたいと思います。概要版を配架したいと思います。

(問) 具体的な話なんですけれども、今年の市民集会で取り上げる予定なんですけど、計画線、15ページに松浪地区の道路の計画線が、例えば小和田・中赤線とか桜道が辻堂周辺地区につながってるんですけど、実際にはこれ以上道路ができるような状態じゃあないと聞いています。それでいながら、この計画線があるためにこの両側が第1種住専じゃあなくて何か違う取り扱いになって高い建物が建てられないらしいんですね。それで余計密集しているということを知ってるんですけど、そういうものをここで言ってもしょうがないのかもしれませんが、そういうような話を私ども聞いてますので、答えはないでしょうね。さんざんこういう話があった時に、こんな理想論ばかりやって何になるんだと言ったことがあるんですけど、依然としてこういう計画線がありますというように言われるのは、非常に問題なんじゃないかなと思ってますので。

(答) 一応都市計画道路の見直しというのを、何年に1回というのはここではお答えできないんですが、ある程度の年月が経つと都市計画道路の見直しを行っております。その中でそういった道路の検討をしているので、今すぐというわけではないんですけど、都市計画道路の変更という時期になれば、そのへんを検討という形はできるかと思えます。

⑥ 空き家実態調査について

都市政策課長より資料に基づき説明があった。

(問) 空き家実態調査大変良いことなんですけど、法律が変わってですね、今各地区の中で空き家で大変心配してるところもありますし、私の地区では何年前から言ってるところが、きれいに取り壊されている状況があります。状況としてはどうなんですか。

(答) これまでそういった空き家を指定して実際にすべて取り壊しを行っていただいて、これまで10件の取り壊しを行っていただいております。今後は今回の調査も含めてなんですけれども、特定空き家に指定されるような空き家を調査する、それプラス管理不全のところ、危険ではないんですけど、そういった所を調査して今後その管理を促すといったことを目的に、プラス以前計画を作ったもの、それに対しての見直しというところで今回調査をさせていただきます。

(問) 調査自体本当に皆さん関心をもってるんですけど、今言われるように、そのあとどうしていただけるのかというのを、地域も非常に関心をもってますので、何か具体的にこういうふう変わったよとか、そういうのを載せたほうがいいんじゃないかと思うんです。いかがでしょう。

(答) 意外と個人情報がかかなりありまして、特定空き家に指定された方というのもむずか

しい。

(問) 個人のところは言わなくても、何件ぐらいでこういう対策を取りましたとかね。

ちょっと具体的であれば、わかるんじゃないのということです。

(答) わかりました。頑張って補足をさせていただきます。

⑦ 相模川の大規模氾濫に備えた避難対策について

防災対策課長より資料に基づき説明があった。

(問) これを見てると要支援者の方々の記載がないんですが、例えば私が住んでるところは、茅ヶ崎小学校に避難しろとなってるんですが、要支援者の方を連れて、そこまで行くのは到底不可能じゃないかと、そういう方たちは別な配慮が必要じゃないかと、例えば私の地域ですと鶴中が避難所になってるんですが、そういう方たちは近隣の避難所へ避難してもいいというようなことを考えてもらわないと、ちょっと困るんじゃないかと思います。

(答) おっしゃるとおりだと思います。配慮を要する方々については、なかなか長距離の移動は難しい方がいらっしゃると思います。そういった方々につきましては今回お示した避難所以外のところの避難所先というのも考えなきゃいけないし、移動ということに合わせて検討をしていかなきゃいけないと思ってます。庁内でも議論を進めまして、今後具体的に決めていきたいと思ってます。

(会長) 湘南地区はだいたいどっぷり浸かってしまう状況なんで、地震についてはこれまでいろいろマップを作ったりしてやってたんですが、洪水については小学校、中学校ということで非常に心配してましたんで、こういうふうに具体的にやっていたことありがとうございます。今お話のなかでこの対象地区の版を作って各戸配布するという話なんですが、ほかの地区については回覧とか回さなくもいいんですか。これほかの地区に知っておいてもらわないといけないんじゃないかと私思うんです。

(答) 今市のほうで考えておりますのは、9月1日号でお話にございましたとおり、浸水区域の地区に配りますが、9月1日号の広報の1面に文字はここまで大きくないですが、ざっくりしたイメージを主に伝えるものですが、おなじ趣旨のものを載せてございますので、そちらで対応していきたいと思います。

(会長) どっぷり浸かっちゃう地区は心配なんでお世話になるかもしれませんが、よろしくをお願いします。

(5) 閉会